

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. D-109

部門名： **校内研修プログラム**
 開発・実践部門

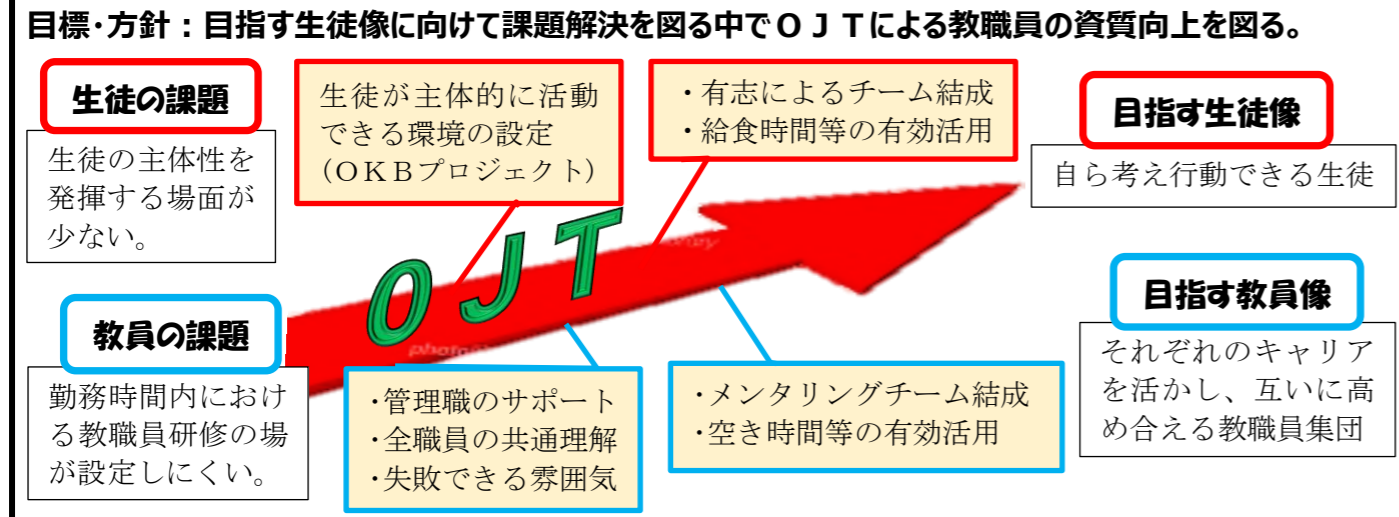
エントリー名： **愛知県愛西市立佐屋中学校 小川晋平**

活動名： **OKB (置き勉) プロジェクト ～生徒も教職員も成長できるOJT～**

解決すべき課題： **自ら考え行動できる生徒の育成とキャリアステージに合わせた教職員の資質向上**

①自ら考え、行動できる生徒を育成する具体的な手立てが少ない。
 ②働き方改革を推進する中、勤務時間内における教職員の資質向上が難しい。

以上の2点より、目指す生徒像に向けた具体的手立ての中にOJTを組み込むことが有効であると考えます。



活動内容： **OKB (置き勉強道具) プロジェクトを通しOJTを実践していく。**

①キャリアステージに合わせた教職員の役割分担 … 若手教員 (メンティ) ⇒ 生徒と共に活動
 中堅教員 (メンター) ⇒ メンティの相談、支援 ベテラン教員・管理職 ⇒ 見守り、失敗したときの支援

②生徒会が全校生徒を対象に、よりよい学校づくりアンケートを実施し、「置き勉」を1番の改善事項に決定。
 ③OKBプロジェクトチーム (生徒の有志) を結成し、「よりよい学校づくり」に向けて動き出す。
 ④メンタリングチームによるOJTを実施しながら、頻繁に情報発信し、全教職員に共通理解を図る。

<OKBプロジェクトの流れ> よりよい学校づくりアンケート⇒改善事項の決定⇒OKBプロジェクト発足
 ⇒検証・話し合い⇒臨時生徒総会⇒署名活動⇒仮実施⇒反省⇒改善⇒ルール制定⇒置き勉実施

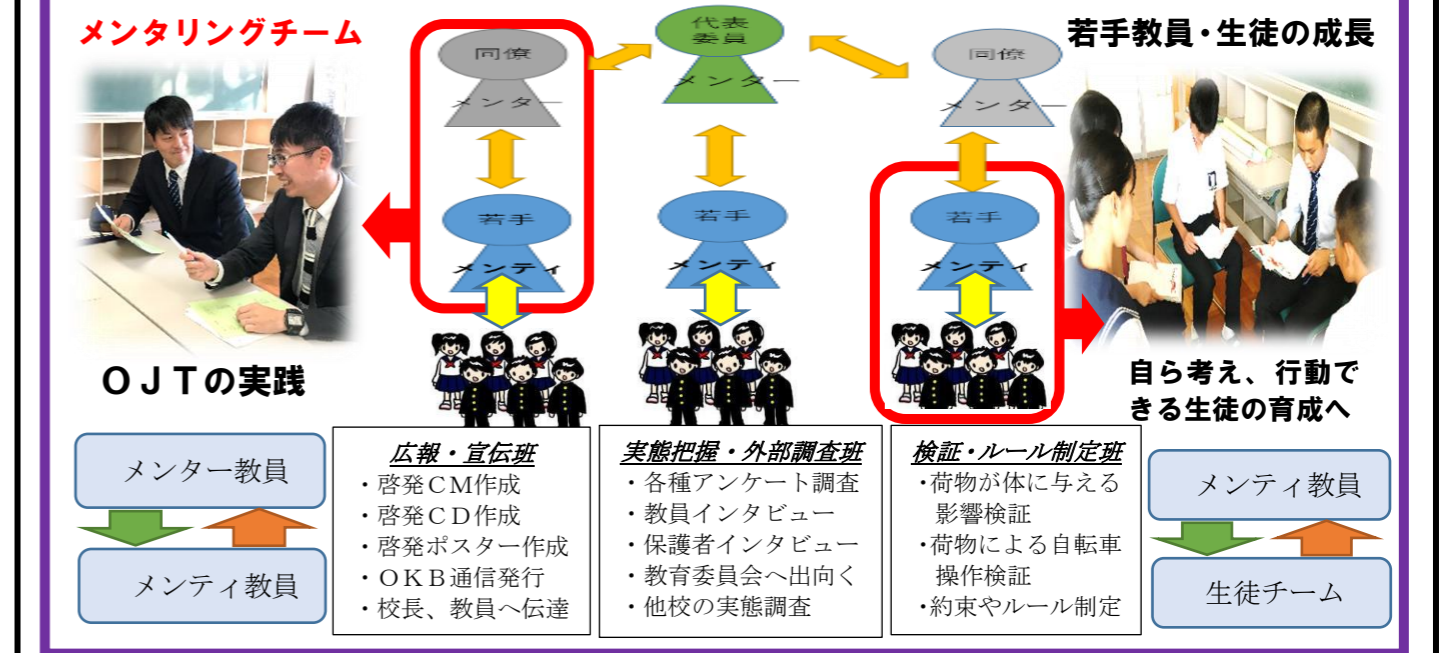
活動の成果： **生徒も教職員も共に育ちながら課題解決を図ることができた。**

①生徒は自分たちでも、学校をよりよく変えていけると実感し、前向きな言動が大幅に増えた。
 ②全教職員が、役割分担を自覚し、持ち味を生かしながら教職員同士と一緒に活動することが増えた。
 ③OKBプロジェクト以外の取組にも、主体的に活動する生徒、教職員の姿が見られるようになった。

アピールポイント (アイデアや工夫)

①課題解決するための具体的な手立ての中にOJTを取り入れることで、生徒と教職員が共に成長できる。
 ②若手教員が中堅教員に、中堅教員がベテラン教員・管理職に支援してもらえる環境の中で、それぞれの立場で意欲的に活動でき、OJTが有効的な研修の手だてとなっている。
 ③メンタリングチームが、生徒の主体的な活動を支援することで、生徒の意識を変えることができる。
 ④他の活動の中でもメンタリングチームを立ち上げ、継続的にOJTを実践していくことができる。

**自ら考え、行動できる生徒の育成
 互いに高め合える教職員集団へ**



全教職員の役割確認
 学校全体で取り組みましょう

生徒自らテーマの決定
 <未来箱 (ご意見箱)>
 生徒会によるよりよい学校づくりアンケート第1位は「置き勉」

OKB (置き勉) プロジェクトチーム発足